

I 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

- ① カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程の確実な実施
- ② 将来を見据えたキャリア教育の充実
- ③ 全教育活動における探究的な学びに向けた取組
- ④ 安心安全な学校づくりへの積極的対応

(2) 評価項目

- ア カリキュラムポリシーに基づく教育体制の整備、授業改善、学習評価の工夫改善及び進学型単位制の趣旨を活かした教育体制の確実な実施
- イ 大学入試改革への対応、学力向上と進路意識の高揚を目指した組織的な取組の強化、幅広い教養と将来の自己実現の基盤となる心豊かな人間性と自己指導能力の育成
- ウ 自ら課題を見つけ、自ら方針を立てて深く考察し、自ら発表する「探究力」の育成
- エ 家庭と連携した生徒指導や教育相談の充実、学校ホームページ等による保護者、地域への積極的な情報発信

(3) 評価の観点、評価基準等

アに関して

- ① カリキュラム・ポリシーに基づき、効果的な教育活動を実践できたか
- ② 進学型単位制の導入に伴い、内規及び教育体制を実施できたか
- ③ 「質」の高い教育を維持するとともに「主体的・対話的で深い学び」、探究的な学びを実践するための指導法の工夫（ICT機器の活用など）を図ることができたか。また、学習評価の工夫改善を図ることができたか

イに関して

- ① 大学入学共通テスト、個別入試等の情報収集及び対策を検討することができたか。また、UJOKOZAの実施内容を改善することができたか
- ② 幅広い教養と将来の自己実現の基盤となる心豊かな人間性と自己指導能力の育成に取り組むことができたか

ウに関して

- ① 「総合的な探究の時間」における探究活動を充実させ、3年間の連続性のある計画的な実施をすることができたか
- ② 本校特有の「自由研究」への積極的な取組を推進することができたか
- ③ 探求につながる授業及び諸活動ができたか

エに関して

- ① 生徒の情報の速やかな把握と共有化及び保護者や関係諸機関との連携強化を図ることができたか
- ② 部活動の適正な実施と不断の見直し・点検、感染防止対策の継続、ヒヤリハットの共有等が適切に行えたか

(4) 評価実施時期及び実施方法

ア 実施時期

10月21日（月）から11月1日（金）

イ 実施方法

全ての教職員が評価項目について評価を行う。評価にあたっては「生徒による授業評価（7月上旬実施）」、「令和6年度学校アンケート集計結果（生徒）」、「令和6年度学校アンケート集計結果（保護者）」の結果も活用した。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・新課程完全実施年度であり、内規および教育体制を生徒主体として整備したものを進めてきた。概ね満足できるものであったが、課題はあるので、次年度以降に向け、更に本校の特性が活かせるように整備していく必要がある。
- ・ICT の活用について、教材開発及び活用事例の蓄積、共有がある程度進み、タブレットや電子黒板の活用が浸透してきている。今後もそれらの蓄積と共有に努め、「質」の高い教育の維持の継続を図るようにする。
- ・土曜講座（UJOKOZA）の内容、実施方法を変更し３年目となり軌道に乗った。今後も生徒の意見も踏まえながら更なる学力向上と進路意識の高揚を目指す。持続可能な運営方法の範囲で継続していく。
- ・探究活動・自由研究は、多分野、分野横断型など様々な研究分野に対応できる体制づくりを今後も継続していく。
- ・校務のスリム化を図りながらも、生徒の活動を止めることのないよう保護者や諸機関との連携を今後も継続していく。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

学校評議員（保護者代表、学校関係者）

(2) 評価実施時期及び実施方法

令和6年1月に自己評価の結果をもとに評価者による審議を行う。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ア 学校行事等の報告
- イ 災害等の緊急時の対応

(2) 提供方法

- ア 上記(1)アについては、「PTAだより」等印刷物及びホームページによる。
- イ 上記(1)イについては、携帯メール連絡システムによる。